

## 第3学年

# 話すこと・聞くこと

相手や場に応じて話し方を考えて話し、相手の表現から自分の考えをよりよいものにするように聞くこと

### つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

相手や場に応じて自分の考えを工夫して話し、相手の表現から自分の考えをよりよいものにするように聞くことができない。



全国学力・学習状況調査では、「思考力・判断力・表現力の育成をめざした授業の構築」が課題であるとされ、主体的・対話的で深い学びになるための授業の構築を図る必要がある。ICTの活用等を推進し、言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成を図ることが大きな課題となっている。

### 実践の概要

単元名

言葉の響きやリズムを味わいながら朗読しよう

『初恋』 光村図書

目標 島崎藤村の「初恋」を朗読し、藤村の恋人への想いを恋文にし、交流し合う。

- 内容
- ・藤村の恋人への想いを考える。
  - ・昭和初期の時代に合った言葉を書き出す。
  - ・恋文をつくり、グループで交流する。
  - ・自分の発表する姿を動画で確認し、振り返る。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容（単元名）	つまずきの実態
第3学年	言葉の響きやリズムを味わいながら朗読しよう	相手や場に応じて自分の考えを工夫して話し、相手の表現から自分の考えをよりよいものにするように聞くことができない。
第2学年	登場人物の立場を理解し、心情を話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を具体的にし、話し合い等で自分の意見を整理して伝えることができない。</li> <li>・相手の意見を踏まえて自分の考えをもつことができない。</li> </ul>
第1学年	話題や方向性を捉えて話し合おう	話す側に情報量の過不足があり、聞く側にも情報をくみ取る姿勢に不足がある。

### 単元末の目指す姿

- ・自分たちを動画で確認し、その場で何度も振り返りをするすることで、抑揚や目線、身ぶりなどを工夫してより伝わるように話し方を変えることができるようになる。
- ・繰り返すことで、自分たちで言葉の根拠や意味を深く考えるなど、話し方・聞き方を工夫するようになる。



### つまずき解消に向けた指導の工夫

説明している様子や話し合いの様子を動画撮影し、動画を見ながら振り返りを行う活動を取り入れる。

**活動のねらい▶** • 内容や話し方について、その場で振り返り、考えることで、自身の発表内容や話し方にいかすことができ、相手への聞き方も深めることができる。

#### ここがポイント

- 何について振り返るのか、視点を明確にしておく。
- タブレット等で撮影したり確認したりすることを日常的に行い、自分の姿を客観的に見直すことに慣れさせる。

### 動画を用いた振り返り



この考え方は自分にはなかったなあ。原稿を読まずに、聞き手を考えた間を取ればもっとわかりやすいのに…。

自分の姿を客観的に見ると、自分の考えを一方向的に話して、相手がどう感じるかを意識できていないなあ。

**(期待される生徒の姿)**  
 タブレットの動画機能を使うことで、黒板に読んでいる姿が提示されるので、発表者も聞く側も同時に映像で確認ができる。また、すぐに再生でき、拡大もできるため、発表内容や話し方等振り返らせた内容を焦点化させて、改善方法を話し合うことができる。

#### ここがポイント

自分の意見を改善する際にも、もう一度動画が見たい場合があれば、確認させる。必要に応じて、動画を見ながら全体で修正箇所について話し合う活動を取り入れる。

### 振り返りを通じた改善



巻き戻して確認できたから、友達がいいなと思った表現を自分の発表にもいかすことができるぞ。

**(期待される生徒の姿)**  
 ワークシートに自分とグループの感じたところを書いていく。交流後にすぐに振り返りが動画のできるの、修正箇所を分析し、自分の意見に反映することができる。